



ナース★アクション



vol.08

2023.6.1
全日本民医連

全ての看護職員の処遇改善と体制拡充を求める国会請願を実現させましょう!!



短期間に署名10万突破

5月30日ナース★アクション白衣の国会請願行動

署名と現場の声を届け、超党派の賛同拡がる

紹介議員は、自民・立憲・国民・共産・れいわから、30人が名を連ねました！

46都道府県から **106,652筆**



国会Action1.

- ▶ 全国からの参加者に、地元国会議員に「上京するので会って欲しい」とアポ取りをあらかじめしていただきました。ほぼ全員からアポが取れた県連も少なくありませんでした。
- ▶ また、事務局からも衆参厚労委員に「紹介議員」と「院内集会参加」の依頼を事前郵送した上で訪問し、FAXでお返事をもらいました。
- ▶ 当日は、5人の議員・5人の議員代理秘書が駆けつけてくれました。

国会Action2.

- ▶ 国会に来るのも初めて、という参加者が大半を占めました。当日は衆参国会議員およそ100人を訪室。その場で紹介議員をご快諾いただいた議員も誕生しました。
- ▶ 地元議員は民医連・医療生協の地域での役割をよく承知しており、話が弾みました。感激して記念撮影をしたチームも。地元とはいえ、初対面のドラマがあちらこちらで生まれました。



国会Action3.

- ▶ 100人の白衣の看護職員と国会議員・議員秘書が同席する中で、二度目の厚労省交渉も行いました。「他産業と比較して看護職の賃金が高い」という認識の誤りを糾しました。

裏面アリマス

国会Action4.

☞「エッセンシャルワーカーはとても過酷な労働環境にあるが不可欠な存在」「社会保障費や復興財源を軍事費に流用するなどはもつてのほか」「看護婦確保法制定から30年も経っているのに、改善されていない。この要求は全ての党派が賛同できる内容」

☞立憲民主党からおふたり、日本共産党から3人の国会議員から熱烈なご挨拶をいただきました。厚労省担当者に向けても議員から要求していただきました。



ご挨拶;立憲・野間健、井坂信彦衆議院議員、共産・倉林明子、紙智子参議院議員、宮本徹衆議院議員 ありがとうございました。



岩手民医連



岡山民医連



北海道民医連



群馬民医連

国会Action5.



☞北から南まで8人の看護職員が、評価料の抜本的見直しと看護職員増員を求めて説得力のあるリレートークしてくれました。

☞「超高齢化社会を迎える今、看護職は益々の更なる、役割り発揮が求められています。限られた財源であることは理解しています。しかし、同じ看護職同士で分断が生じることはあってはなりません」「同じようにコロナ対応に奮闘してきたにも関わらず今回の処遇改善では、訪看や介護事業部で働く看護師は処遇改善手当を受け取ることが出来ませんでした」「感染症対応の今回の反省を活かし行動できる体制づくりを構築していくには、人材が必要です。各事業所の努力で、職員の基本給をあげればいいのかと考えるかもしれませんが、診療報酬が上がらなければ、基本給をあげる財源がありません」



石川民医連



大阪民医連



熊本民医連



東京民医連

【紹介議員一覧】 自民党1、立憲民主党17、国民民主党2、日本共産党9、れいわ新選組1人 計30人

自民・石田昌宏(参)、立民・湯原俊二、荒井優、神谷裕、道下大樹、山岡達丸、西村智奈美、金子恵美、吉田統彦、中島克仁、阿部知子、早稲田ゆき、井坂信彦、小川淳也、渡辺創、野間健(衆)、打越さく良、川田龍平(参)、国民・長友慎治(衆)、芳賀道也(参)、共産・高橋千鶴子、宮本徹、穀田恵二(衆)、紙智子、伊藤岳、小池晃、倉林明子、井上哲士、仁比聡平(参)、れいわ・天畠大輔(参)

- ①残っている署名は5日(月)までにご送付ください。
- ②日看協も財政措置を政府に要望しました。各県看護協会や訪問看護協会と懇談をセットしましょう。
- ③団体署名を活用して自治体との懇談を計画しましょう。
- ④賛同してくれた国会議員に御礼と激励をしましょう。
- ⑤各自SNSなどで処遇改善や看護職員増員を訴えましょう。

